

令和6年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
青葉	1	放課後キッズクラブ及び児童クラブ事業の補助金事務及び監査事務の一部集約化	1 DX化における本部経費の各クラブへの分配計上等の検証を兼ねて、R6年度の複数区でクラブを運営する法人(上位6法人等)の補助金事務を局で実施 2 立入調査の内、補助金に関する部分(経理的な部分)を局に集約し外部委託等で実施	こども青少年局	△
青葉	2	マイナンバーカードセンター開設による市民利便性・満足度向上	1 マイナンバーカード特設センターのマイナンバーカードセンター(MNCC)への再整備 2 MNCCは、平日夜間・土日開所で「カード交付」、「カード・電子証明書更新」、「カード再発行」、「MN関連サービスの問合せ・相談窓口」等を担い、区は転出入に伴うカード券面変更等のMNCCで対応できない業務を継続して実施	市民局	△
				デジタル統括本部	—
青葉	3	大規模な風水害時における土木事務所の電源保全(浸水対策)	青葉区庁舎は、令和3年度に基本設計、令和5年度の実施設計を先行して行っており、同じく浸水想定区域に位置する土木事務所についても、必要な予算を要望	市民局	△
青葉	4	汲み取り式仮設トイレ等の地域防災拠点備蓄庫からの移設	汲み取り式仮設トイレ等について、ハマッコトイレが整備された後は、拠点備蓄庫から移設し、拠点備蓄庫以外で保管	資源循環局	—
青葉	5	空家所有者等への空家管理維持サービス業者の斡旋	本市が空家維持管理サービス業者と提携。空家所有者等に対して維持管理の委託を推奨	建築局	○
青葉	6	GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)の機運醸成	GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)開催に向けた機運醸成の効果的な手法等の検討・実施	都市整備局	△
青葉	7	都市計画道路等の整備	川崎町田線、恩田元石川線、真光寺長津田線、恩田線について、整備の促進を要望	道路局	△
青葉	8	谷本公園北側エリアの整備促進	谷本公園北側「野球場エリア」の早期の整備実現に向け、事業用地の早急な取得を要望	環境創造局	○
青葉	9	良好な緑の保全と恩田市民の森の早期開園	1 区内に残る良好な樹林地を保全するため、緑地保全制度の積極的な活用推進を要望 2 恩田市民の森の早期公開を要望	環境創造局	△
青葉	10	自治会館整備補助金の上限額見直し	自治会館の整備に係る補助金について、近年の建設費高騰を踏まえた、平米単価及び上限額の見直し	市民局	○
青葉	11	区役所におけるHIV検査業務の安定的な運営	各区におけるHIV相談・検査(採血)業務を円滑かつ効率的に実施することができるよう、局において体制を構築したうえで、各区に派遣することを要望	医療局	△
青葉	12	青葉区の図書館環境の向上	1 取次サービスのシステム改善 2 子育て世代への取組の強化 3 周辺民間駐車場の割引サービスの提供 4 図書館ビジョンの施策について青葉区で先行して実施	教育委員会事務局	—

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	青葉区	青葉区		戸籍課		
		担当者名	濱島	TEL	978-2233	
		共通区	15区（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区、港南区、旭区、金沢区、港北区、緑区、都筑区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区）※一部賛同区含む			
		継続年数	新規			

提案種別	予算・制度関連
------	---------

番号	項目
2	マイナンバーカードセンター開設による市民利便性・満足度向上

◇地域の課題、基礎データ等
 市の取得促進事業や国のマイナポイント事業等により、現在7～8割程度の方がマイナンバーカードを保有しています。R6年度の健康保険証との一体化もあり、今後は、より多くの方がマイナンバーカードを保有していくと想定されます。また、民間事業者も含めた関連サービスの利用が進み、マイナンバーカードは市民生活の新たなインフラとなる見込みです。今後、市のカード関連事務も交付促進期からカードと電子証明書の定期更新と紛失再交付が中心となるフェーズへの移行が想定されています。このフェーズへの移行に合わせて、安定したマイナンバーカード事務運営体制を構築します。

- 今後、377万人の市民が窓口でマイナンバーカードの更新（10年）と電子証明書の更新（5年）を行います。過去の交付ペースの多寡により、更新件数は5年単位で増減を繰り返します。また、マイナンバーカード利用の増加に伴い、紛失再交付も増加傾向となることが予想されます。区戸籍課のみで対応する場合、手続き件数が少ない年度はR2～4年度平均と同程度ですが、ピーク年度はR2～4年度平均の2倍以上となる見込みです。
- 区戸籍課の開庁時間は平日昼と土曜開庁（午前のみ）であり、現役世代が多くを占める市民が利用しやすい時間帯ではありません。ほぼすべての市民が円滑に更新手続きを行うためには、平日夜と土日も手続きできる体制・環境整備が必要です。
- 区戸籍課は区役所で最も来庁・入電件数が多く、特に3～4月の転出入ピーク期は窓口混雑や電話不通が発生しています。マイナンバーカード保有者の転入手続きはカード券面変更と電子証明書発行を伴うため、時間を要します。マイナンバーカード保有者増加に伴い、転入手続きの事務量・所要時間が増えるため、今後、戸籍課の混雑緩和のために体制の変更・強化が必要です。
- 住民票コードに基づいてマイナンバーが附番されたことに伴い、区戸籍課（登録担当）はH27年度からマイナンバーカード関連事務を担っています。当該業務が増えたことに伴い、事務スペースの狭隘化が課題となっています。今後、区戸籍課のみで2倍以上の手続き件数の増に対応するためには、区戸籍課の待合・執務スペースを拡大する必要がありますが、区庁舎内では対応が困難な状況です。床面積やレイアウト上で窓口数には上限があり、また、適切な事務遂行には一定程度の作業スペースが必要と考えます。
- カード関連サービスは行政の証明書発行やオンライン手続きに加えて、今後は健康保険証・運転免許証・自動車登録・国家資格事務、民間サービスへと拡大が予定されています。市民からはカード交付に加えて、関連サービスの相談・問合せが一層増える見込みですが、現在はワンストップ対応できる市の窓口がなく、十分に市民の期待に応えていません。

◇地域ニーズ等の収集手段

<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等	<input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等	<input type="checkbox"/> 3 地区担当制	<input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等
<input type="checkbox"/> 5 区民アンケート	<input type="checkbox"/> 6 区民要望	<input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望	
<input type="checkbox"/> 8 その他（			

◇区民からの具体的な要望

- ・マイナンバーカードに関する手続きが平日夜間や土日祝日もできるようにしてほしい（提案時現在のセンターは交付窓口のみ）。
- ・マイナンバーカードやマイナンバーカード関連サービスに関する様々な相談（利用相談含む）をどこにすればよいか分からない。
- ・区役所はマイナンバーカード関連手続きと住民登録が同じ窓口なので、混んでいて待ち時間が長い。
- ・カード受取は予約が必要で面倒だ。予約なしで気軽に受け取れるようにしてほしい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

【青葉区運営方針】
 目標達成に向けた施策4：未来に向けて特色を生かすまちづくり
 「～DXを推進し、将来にわたり魅力あるまちを目指します。」

【青葉区戸籍課での主な対応】

- ・戸籍課全体（責任職、一般職員、会計年度任用職員）による効率的・集中的な交付体制で、平日240・土曜100の予約枠（18区最多）を設定。
- ・区庁舎4階の食堂厨房跡地を活用し、カード事務バックヤードを設置。
- ・来庁者の混雑対策として、Web発券システム導入、混雑情報Web配信・区庁舎1階モニター設置、区HP・広報よこはまで繁忙期混雑予測情報掲載（繁忙期最長待ち時間122分）

【区提案反映制度】

- ・R4年度予算編成に向けた区提案制度「持続可能なマイナンバー事務執行体制の構築（南区）」に共通区エントリー
- ・R5年度予算編成に向けた区提案制度「持続可能なマイナンバーカード事務執行体制の構築と行政手続オンライン利用推進（緑区）」に共通区エントリー

◇提案内容・概算額等	
<p>【特設センターの業務・機能を拡充】～手続き件数2倍以上増や多様化する市民ニーズに対応～</p> <p>①カード・電子証明書の更新（5年、10年毎）・カード再発行（紛失等随時）業務等</p> <p>②カードやマイナンバー関連サービス（健康保険証・運転免許証・民間サービスや各種オンライン手続の操作方法等）に関する全般的な問合せ・相談窓口（コールセンター等によるオンライン対応の拡充を含む）によるワンストップ化</p> <p>③カード事務に特化した体制で、市民ニーズに細かく対応するサービスを拡充（予約不要カード交付方式の併用など）</p> <p>【特設センターの窓口数・開所時間を拡大】～平日夜・土日の交付枠拡大で市民ニーズに対応～</p> <p>④レイアウト見直しで窓口数を増加</p> <p>⑤閉所時刻を平日21時・土日20時へ延長</p> <p>【区戸籍課はセンターだけでは対応困難な業務に特化】～センターを補完して総合的な市民サービスの向上～</p> <p>⑥転出入に伴う券面変更・電子証明書発行、出生・入国者への新規申請案内、センター来所が困難な一部高齢者・障害者への対応（更新・交付業務等）などは継続実施。（区戸籍課の取扱業務を当該業務に絞り込み、リソースを住民登録業務等への集中させることで窓口混雑解消と個人情報管理リスク低減による市民サービス向上）</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
区の執行体制の調整を要す	
◇所管局	
所管局課	市民局窓口サービス課、デジタル統括本部企画調整課及びデジタル・デザイン室

◆局回答内容

市民局		窓口サービス課	
担当者名	小松	TEL	671-4693

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>マイナンバーカードセンターの設置提案は、現在設置しているマイナンバーカード特設センターの継続により、予算計上します。</p> <p>そして、電子証明書の有効期限更新手続きや暗証番号ロック解除等、特設センターの取扱手続きを今後順次拡大を図ります。課題となっている令和6年度以降のマイナンバーカード・電子証明書の更新手続きへの対応についても、特設センターでも手続きを受け付け、区戸籍課と連携し、対応します。</p> <p>国における電子証明書自体の有効期限の延長やカード更新手続きのオンライン化などの検討状況を踏まえ、事務の効率化や市民サービスなど総合的な観点から、マイナンバーカードに関する適切な業務体制について、引き続き、検討してまいります。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

デジタル統括本部		企画調整課 デジタル・デザイン室	
担当者名	俵口（企画調整課） 長澤、辻（デジタル・デザイン室）	TEL	671-3792（企画調整課） 671-4765、671-3321（デジタル・デザイン室）

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	<p>カードやマイナンバー関連サービスに関する全般的な問合せ・相談窓口の設置については、区役所の在り方も踏まえたマイナンバーカード特設センターの業務拡大の方向性、マイナンバーカード特設センターにおけるニーズなどを踏まえ、市民局窓口サービス課と調整の上、必要に応じて検討します。</p>
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

Table with 2 columns: 所管局名 (Resource Circulation Bureau), 資源循環局

Table with 4 columns: 青葉区, 総務課, 担当者名 (柄), TEL (978-2213), 共通区 (15区)

Table with 2 columns: 継続年数 (New), 新規

Table with 2 columns: 提案種別 (Budget Related), 予算関連

Table with 2 columns: 番号 (4), 項目 (汲み取り式仮設トイレ等の地域防災拠点備蓄庫からの移設について)

◇地域の課題、基礎データ等

下水直結式仮設トイレ (ハマッコトイレ) については、令和5年度中に区内のすべての地域防災拠点で整備が完了する予定で整備がすすまられています。...

【参考】

- 本市における災害時のし尿処理の想定
●青葉区における被害想定
●青葉区での必要なし尿の処理想定量 (イメージ)

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等
□ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 ■ 7 関係団体からの要望
□ 8 その他 ()

◇区民からの具体的な要望

地域防災拠点の備蓄庫のスペースが限られており、「汲み取り式仮設トイレ」は容積が大きいため、特に地域防災拠点から問題視されています。...

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

昨年度、緑区が提出した区要望「防災倉庫等の新設について」の共通区として、防災倉庫の拡充を要望しています。また、ハマッコトイレの配備の際に、保管場所が確保できない場合は、区から学校に調整を行い、学校の一部スペースを占有している状況です。

◇提案内容・概算額等

使用される可能性が限定的だと考えられる区の、汲み取り式仮設トイレ等を、各地域防災拠点備蓄庫に整備するのではなく、方面別備蓄庫等に一括で保管するように運用の変更を提案します。...

【必要期間】 1か月程度
【委託費用】

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課 資源循環局街の美化推進課

◆局回答内容

Table with 4 columns: 資源循環局, 街の美化推進課, 担当者名 (折本 森), TEL (671-2555)

Main response table with 2 columns: 対応の有無 (No), 対応しない理由 (課題に対する局の考え方, 対応する場合の課題)

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名 都市整備局		青葉区		区政推進課	
		担当者名	佐藤	TEL	978-2217
		共通区			
		継続年数		新規	
提案種別					
予算関連					
番号	項 目				
6	GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)の機運醸成				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>旧上瀬谷通信施設において、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的にGREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会) が開催されますが、会場周辺での駐車場不足や、会場に向かう道路の渋滞を回避するために、青葉区内のインターチェンジ周辺からのパークアンドライドを実施する可能性があります。</p>					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()					
◇区民からの具体的な要望					
青葉区の大きな魅力である農や緑の魅力を広くPRして欲しい。					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。					
<p>【青葉区運営方針：目標達成に向けた4つの柱4「未来に向けて特色を生かすまちづくり」】 文化・芸術、食、自然、農業など、青葉区のさまざまな特色を生かした取組を実施するとともに、脱炭素化及びDXを推進し、将来にわたり魅力あるまちを目指します。 【都市計画マスタープラン・青葉区プラン】 まとまりのある樹林地や農地などを保全し、鶴見川水系の自然的環境を生かした魅力的な空間にすることにより、うるおいのあるまちづくりを進めます。また、市街地においても緑のうるおいある環境を創造します。 区民が気軽に水と緑に親しむことができるよう、区内に広がる様々な水と緑の空間を花や樹木により結びます。</p>					
◇提案内容・概算額等					
<p>パークアンドライド会場周辺にてGREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会) とのタイアップイベントを実施し、青葉区の大きな魅力である農や緑の魅力を積極的にPRを予定しています。 2027年の博覧会実施までの4年間をかけて、機運醸成の効果的な手法等を検討・実施していきます。 【概算額】 イベント検討費（委託料） ██████████</p>					
◇参考：区執行体制上の課題					
<p>現在の体制で対応</p>					
◇所管局					
所管局課		都市整備局国際園芸博覧会推進課			

◆局回答内容

都市整備局		国際園芸博覧会推進課	
担当者名	中村	TEL	671-4627

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>パークアンドライド会場については、引き続きの議論が必要です。また、各区の特性に合った機運醸成の取組には、区配予算を活用下さい。なお、各区の実情に合わせた取組強化のため、令和6年度区配上限額の増額について、予算計上済です。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局	青葉区		区政推進課		
		担当者名	佐藤、上野	TEL	978-2217	
		共通区				
		継続年数	7年以上			
提案種別		予算関連				
番号	項目					
7	都市計画道路等の整備					
◇地域の課題、基礎データ等						
<p>1 川崎町田線：区内の骨格的道路として事業中ですが、恩田地区は周辺の通学路に通過交通が流入していることや、田奈地区は田奈駅周辺の現道に歩道のない区間があり、歩行者の安全性に課題があるため、早急な整備が必要です。</p> <p>2 恩田元石川線：鉄地区は事業着手しましたが、現道に歩道のない区間があり、歩行者の安全性に課題があるため、早急な整備が必要です。また、元石川地区は事業化に向けた検討が進められています。</p> <p>3 真光寺長津田線：着手時期未定路線ですが、歩道のない箇所が多い現況道路は、歩行者の安全上問題です。</p> <p>4 恩田線：真光寺長津田線との接続部が未整備であり、歩行者の安全上問題です。</p>						
◇地域ニーズ等の収集手段						
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ）						
◇区民からの具体的な要望						
<ul style="list-style-type: none"> 川崎町田線については、田奈駅周辺のスクールゾーン対策協議会や地域住民より、早期に整備がされるよう、意見が出ています。 恩田元石川線については、平成4年から「住民参加の道路づくり」の検討がされました。平成15年11月の都市計画決定以降、横浜市と地元代表組織で「恩田元石川線（もみの木台～荳子田間）再整備計画検討連絡会」が組織され、平成18年度には「恩田元石川線作業部会協議結果報告書」が再整備計画検討連絡会へ提出されています。 恩田元石川線については、優先整備路線の見直しに関する意見募集において、早期事業化を望む意見が出されています。 真光寺長津田線については、歩道がない箇所が多く、危険であるとの意見が出ています。 恩田線については、代替として使用されている道路に歩道がなく、人身事故が発生するなど、危険であるとの意見が出ています。 						
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。						
<p>【都市計画マスタープラン・青葉区プラン】</p> <p>真光寺長津田線、川崎町田線、恩田元石川線は骨格道路、恩田線は幹線道路に位置付けられ、国道246号線や環状4号線とともに、区内を格子状に結ぶ骨格道路網を形成することとしています。</p> <p>恩田元石川線については、地域住民との話し合いを行いながら、歩行空間や自転車通行空間、道路デザインに配慮し、周辺の地域資源との連携を図ることとしています。</p>						
◇提案内容・概算額等						
<p>1 川崎町田線：事業中の区間について、引き続き用地取得の推進、道路整備の推進</p> <p>2 恩田元石川線：事業中区間である鉄地区の用地取得の推進・道路整備の推進、先行着手区間としている元石川地区の早期事業化、「恩田元石川線作業部会協議結果報告書」の内容を踏まえた整備済み区間の検討</p> <p>3 真光寺長津田線：早期事業化</p> <p>4 恩田線：早期事業化</p>						
【概算額】						
<p>1 川崎町田線：恩田地区、田奈地区の用地取得と整備推進（工事費、用地取得費、設計費、整備費）</p> <p>2 恩田元石川線：鉄地区：用地取得と整備推進（用地取得費、設計費、整備費）、元石川地区：早期事業化（用地取得費、設計費、再整備検討費）</p> <p>3 真光寺長津田線：早期事業化（用地取得費、設計費）</p> <p>4 恩田線：早期事業化（用地取得費、設計費）</p>						
◇参考：区執行体制上の課題						
現行の体制で対応						
◇所管局						
所管局課	道路局企画課、道路局事業推進課、道路局建設課					

◆局回答内容

道路局		事業推進課・企画課・建設課	
担当者名	小川、菅原（事推課） 関野、詫間、江宮（企画課） 北川、武居（建設課）	TEL	671-3533(事推課) 671-2777(企画課) 671-3526(建設課)

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>恩田元石川線（元石川地区）については、令和6年春頃に事業に着手し、測量・設計等を進めます。（事業推進課、企画課、建設課）</p> <p>他の未着手の区間については、整備財源となる国費が十分に確保できない状態が続いているなど課題があるため、事業化の目途は立っておりません。（企画課）</p> <p>川崎町田線については、引き続き用地取得を進めるとともに、今年度から奈良川の橋梁工事に着手するなど、早期整備に向けて整備を進めています。（建設課）</p> <p>恩田元石川線（鉄地区）については、早期に整備できるよう用地取得を進めます。（建設課）</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局	青葉区		区政推進課	
		担当者名	佐藤、上野	TEL	978-2217
		共通区			
		継続年数	7年以上		

提案種別	
予算関連	
番号	項目
8	谷本公園北側エリアの整備促進
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>青葉区では、少年野球・サッカー・テニス等が活発に行われていますが、グラウンドの数・質ともに利用者数に対し充実しておらず、学校予定地など空き地を利用して活動している状況であり、スポーツ施設整備に関する要望が引き続き寄せられている状況にあります。</p> <p>谷本公園は、区内で本格的なスポーツが楽しめる唯一の地区公園として、南側「運動広場」エリアが平成21年春に開園しました。北側「野球場」エリアについては、平成26年度に多目的グラウンドを先行整備しましたが、用地取得の難航により全面開園に至っていません。区内のみならず、北部エリアにとって、貴重なスポーツ施設であり、早期に整備を行う必要があります。</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
◇区民からの具体的な要望	
<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利法人 青葉緑東リトル野球協会「谷本公園事業に対する要望書」(平成24年9月) 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。	
<p>【都市計画マスタープラン・青葉区プラン】</p> <p>鶴見川沿いの水と緑の環境を生かした自然と親しむためのスポーツ・レクリエーション施設など、区民が集まり交流する機能を持った施設間の連携を高めるとともに、広域的な文化・スポーツ機能の集積を促進します。</p>	
◇提案内容・概算額等	
<ul style="list-style-type: none"> ・谷本公園北側「野球場」エリアについて、事業用地の取得を早急に進め、早期に整備を実施 <p>【概算額】 用地取得 ■■■■■ 円</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
<p>現行の体制で対応</p>	
◇所管局	
所管局課	環境創造局緑地保全推進課

◆局回答内容

環境創造局		緑地保全推進課	
担当者名	川口	TEL	671-3948

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 未取得の用地がある谷本公園北側エリアについては、引き続き用地取得に向けた調整を進めていきます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局	青葉区		区政推進課		
		担当者名	佐藤、上野	TEL	978-2217	
		共通区				
		継続年数	7年以上			
提案種別						
予算関連						
番号	項目					
9	良好な緑の保全と恩田市民の森の早期開園					
◇地域の課題、基礎データ等						
<p>水と緑の基本計画に緑の10大拠点として位置付けられた「こどもの国周辺地区」では、特別緑地保全地区や市民の森、源流の森保存地区、緑地保存地区の指定、市民と里山のふれあいの場として、良好な自然環境を保全・活用する必要があります。</p> <p>1 恩田地区については、絶滅危惧種の生息が確認され、周辺住民の緑地保全に対する関心も高くなりつつあります。</p> <p>2 恩田東部地区にある樹林地や水田については、その保全が求められています。</p> <p>3 寺家ふるさと村については、一部が市民の森や特別緑地保全地区として指定されていますが、土地所有者の事情などにより土地利用転換される可能性がある樹林地があります。</p> <p>4 元石川町、鉄町、奈良町等にもまとまった樹林地がありますが、土地所有者の事情などにより土地利用転換される可能性があります。</p>						
◇地域ニーズ等の収集手段						
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()						
◇区民からの具体的な要望						
<ul style="list-style-type: none"> ・「恩田の谷戸の保全について」（平成9年度市長陳情） ・「熊谷小川アメニティに隣接する地区の環境維持について」（平成16年度区長陳情） ・平成21年度地域要望（恩田東部地区） ・区民会議令和2年度予算要望（令和元年8月） 						
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。						
<p>【都市計画マスタープラン・青葉区プラン】</p> <p>横浜市の緑の10大拠点の一つとして、青葉区の北部及び西部を中心にまとまって残っている樹林地を中心とした里山については、特別緑地保全地区、市民の森などの様々な緑地保全制度を活用し、地域の意向を踏まえつつ保全を図ります。</p>						
◇提案内容・概算額等						
<ul style="list-style-type: none"> ・寺家ふるさと村、恩田町、元石川町、鉄町、奈良町などの区内に残る良好な樹林地を保全するため、緑地保全制度の積極的な活用推進を要望します。 ・「恩田市民の森」の一部先行公開、用地の取得等の継続、全面公開 <p>【概算額】 測量費、整備費等 ■■■■■ 円</p>						
◇参考：区執行体制上の課題						
現行の体制で対応						
◇所管局						
所管局課	環境創造局緑地保全推進課					

◆局回答内容

環境創造局		緑地保全推進課	
担当者名	和田	TEL	671-3469

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>青葉区内各地区のまとまった樹林地について、引き続き緑地保全制度の指定（新規・拡大）に向けて土地所有者との交渉を進めるとともに、土地所有者の同意が得られた区域については、指定に向けた測量を実施します。</p> <p>既に市民の森指定に同意いただいた区域について、可能な箇所から開園に向けた測量・設計等の調整を進めていきます。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名		市民局		青葉区		地域振興課	
				担当者名	久保	TEL	978-2291
				共通区	13区(鶴見、神奈川、西、中、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、栄、泉、瀬谷)		
				継続年数	新規		
提案種別							
予算・制度関連							
番号	項目						
10	自治会館整備補助金の上限額見直し						
◇地域の課題、基礎データ等							
<p>自治会館の整備については、1㎡あたりの単価は少しずつ見直されているものの、近年の建設費高騰に追いついておらず、さらに補助上限は平成9年に1,200万円に増額されて以降、変更されていません。</p> <p>自治会館は総会などで数十人が一堂に会することができる空間を作る必要があることから、耐震性を維持するために、小さな部屋を複数作る一般住宅よりも建築費が高くなる傾向があります。</p> <p>また、平成23年の東日本大震災以後、建築費は大幅に上昇しており、2011年比約1.4倍となっていることに加え、求められる耐震性能は一層高まっています。さらに、省エネのための断熱性能や、誰もが使いやすい自治会館にするためのバリアフリー性能など、平成9年当時と比して自治会館に求められる機能への要求は一層高まっており、それらも建築費が高まる要因となっています。</p> <p>会館の広さについても、青葉区の会館整備実績(S52~R4)から新設会館の延べ床面積の推移を確認すると、100㎡程度だったものが150㎡程度まで拡大しており、求められる自治会館の広さについても拡大傾向にあることがわかりました。上記のとおり、建築費の上昇、求められる機能の高まり、延べ床面積の拡大から、現状、自治会館については、補助率1/2とされているものの、補助上限の2倍の2,400万円で整備することは難しい状況です。</p> <p>このため、自治会館の新築・建て替えを行う自治会は、1,200万円を大幅に超える資金の拠出が必要となっているほか、自治会館建設(建て替え)のための積み立てについて、当初の目標額を達成したとしても、近時の建設費高騰により延期や中止をせざるを得ない自治会も存在しており、補助上限価格の見直しを地域からも強く求められています。</p> <p>■当区が把握する自治会館整備費実績及び見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に建て替えを行った自治会の整備費：3,610万円(A自治会 168.25㎡) 令和5年度建て替えを予定していたが建設費高騰により延期した自治会の見積額：6,750万円(B自治会) 新築を予定しているが建設費高騰により延期している自治会の整備費見積額：4,700万円(C自治会) 2~3年後に建て替えを予定している連合自治会の整備費見込額：5,000万円(D自治会) 							
◇地域ニーズ等の収集手段							
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()							
◇区民からの具体的な要望							
<ul style="list-style-type: none"> ・会館整備に係る補助金の上限価格を上げてほしい。補助率1/2とされているが、補助上限の1,200万円の2倍の2,400万円では自治会館は到底建設できない。 ・想定を大きく上回る建設費高騰により補助金申請を断念せざるを得ない。 							
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。							
<p>補助上限までしか補助金は交付できない旨を説明し、ご理解いただいていたが、近年同様の問い合わせや、補助金申請を断念すると連絡が増加している。</p>							
◇提案内容・概算額等							
<p>提案内容①：新築・購入の場合の単価を99,000円から11万円に見直し ※令和4年度建て替えを行った自治会館の1㎡あたりの単価：約21.5万円→21.5万円/2=約11万円</p> <p>提案内容②：新築・購入の場合の補助上限を2,500万円に見直し ※令和4年度新築及び令和5年度に見積徴収した自治会の会館整備費平均の1/2 整備費平均：(3,610万円(A自治会)+6,750万円(B自治会)+4,700万円(C自治会))/3=約5,000万円</p> <p>概算額：2/3件(※1)×1,300万円(※2)×18区=1億5,600万円 (※1) 青葉区の直近3年間の新築及び新築希望件数(2件→1年あたり2/3件) (※2) 現行補助上限との差額</p>							
◇参考：区執行体制上の課題							
現行の体制で対応							
◇所管局							
所管局課		市民局地域活動推進課					

◆局回答内容

担当者名		市民局		地域活動推進課	
		川口、江口	TEL	671-2317	

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	地域活動及び防災活動の拠点となる自治会町内会館の建て替え・耐震補強工事等の要望に応えるため、工事費の高騰を踏まえ補助上限額を25%増やし、より手厚く自治会町内会館の整備費を補助します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

